| 学校番号 | ３１０ |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | ON!１　（音楽の友社） | | | | | | |
| 副教材等 | ギターのＣメジャースケール，バレエ《くるみ割り人形》，合唱曲「地球へ」<br>クラッピング・カルテット第１番，第３の男のテーマ，花かげ　等 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現活動及び鑑賞の活動において、音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）を知覚し、その働きを感じ取って表現したり、根拠をもって音楽のよさを言葉で表すことを重視します。
・生活や社会における、私たちと音や音楽との関わりを意識し、文化的・歴史的背景とともに、音楽文化を理解しようとする意欲を高く評価します。
・音楽には慰められたり、勇気をもらったりする力があることを知ってほしいと考えています。
　興味・関心をもって前向きに授業に取り組み、達成感や感動体験を味わうことでそれが可能であると考えています。
・表現（歌唱・器楽・創作）と鑑賞を並行して扱い、実技試験は、授業中個別に行うことを基本とします。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識<br><br>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。技能 | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 | 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 日本語で歌おう | 【歌唱】<br>・翼をください<br>・花は咲く<br>・少年時代<br>・小さな空<br>・合唱曲「地球へ」<br>等 | a：【知】言葉の特性と曲種に応じた発声について理解している。<br>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br><br>b:音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br><br>c:正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br><br>実技 | ワークシート<br><br>実技 | 取組状況<br><br>振り返りレポート |
| | ギターに親しもう | 【器楽】※ギター<br>・アポヤンド奏法の習得<br>・C メジャースケール<br>・第三の男のテーマ<br>メロディーの練習 | a:【知】曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。<br><br>b:音色、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br><br>c:アポヤンド奏法や音色の工夫に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | 観察<br><br>実技 | 実技 | 取組状況<br><br>振り返りレポート |
| | アンサンブル① | 【器楽】※リズム<br>・野菜の気持ち | a:【知】曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。<br><br>b:音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br><br>c:音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br><br>発表 | ワークシート<br><br>発表 | 取組状況<br><br>振り返りレポート |
| | 音の旅行 | 【鑑賞】<br>・ガムランとケチャ | a:【知】我が国やアジア地域の諸民族の音楽について、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及びその特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。<br><br>b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。<br><br>c: 我が国やアジア地域の諸民族の音楽と文化、自然環境、社会に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート | ワークシート<br><br>振り返りレポート | 振り返りレポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 外国語で歌おう | 【歌唱】<br>・'O sole mio<br>・オー シャンゼリゼ<br>・Climb Ev'ry Mountain<br>・A Whole New World<br>・カーロ ミオ ベン<br>等 | a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br><br>b:リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br><br>c:外国語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート | ワークシート | 取組状況 |
| | 合唱 | 【歌唱】<br>・地球へ | a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br><br>b:リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br><br>c:正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>実技 | ワークシート<br>実技 | 取組状況<br>振り返りレポート |
| | 好きな素材を使ってアレンジ作品を作ろう | 【創作】<br>好きな素材を使って<br>アレンジ作品を作る | a:【知】素材のイメージに基づきながら、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽を作る技能及び、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変装や編曲をする技能を身につけて、創作で表現している。<br><br>b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。<br><br>c:音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想の関わりに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>作品 | ワークシート<br>作品 | 観察<br>振り返りレポート |
| | 楽器の音を楽しもう | 【器楽】※ギター<br>・第三の男のテーマ<br>（アンサンブル） | a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。<br><br>b:音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br><br>c:ギターの奏法や音色の工夫に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | 観察<br>発表 | ワークシート<br>発表 | 取組状況<br>振り返りレポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 魔法の世界を覗いてみよう | 【鑑賞】<br>・バレエ《くるみ割り人形》 | a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。<br><br>b:音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を自ら味わって聴いている。<br><br>c:題材となっている物語や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ワーク<br>シート | ワーク<br>シート | |
| 3 | 箏のあれこれ　どっぷり浸かる日本の音楽 | 【器楽】※箏<br>・基礎<br>・花かげ<br><br>【鑑賞】<br>・箏の鑑賞<br>・古箏(中国)の鑑賞 | a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりや、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。<br>【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。<br><br>b:音色、リズム、旋律を知覚し、 それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br><br>c:箏の文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりなどに関心をもち、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | 小テスト<br><br>実技 | 実技 | 観察<br><br>振り返り<br>レポート |
| | 味わって歌おう | 【歌唱】<br>・早春賦<br>・月の砂漠<br>・冬景色 | a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br><br>b:音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br><br>c:歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | ワーク<br>シート | ワーク<br>シート | 振り返り<br>レポート |
| | 我が国を見つめよう | 【鑑賞】<br>・カンタータ《土の歌》<br>・日本の伝統芸能 | a:【知】曲想や歌詞の内容や表現上の効果との関わりについて及び、我が国や郷土の伝統音楽の種類とその特徴について理解している。<br><br>b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。<br><br>c:我が国の音楽や文化、作詞者と作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ワーク<br>シート | ワーク<br>シート | 振り返り |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度